

2016 Vol.59 Spring

# Access

～医学生と鹿児島民医連の情報誌～

アンケート  
ご回答者に  
図書カードを  
プレゼント!

## 特集

奨学生になって思うこと

研修医紹介(研修医1年目・研修医2年目)

地域の声が行政を動かした「愛のふれあい会食」

徳之島診療所—離島医療—

### ご案内

- 鹿児島民医連奨学生募集のご案内
- 医系学生サポートセンターの紹介
- ホームページ、ブログのご案内
- 鹿児島民医連の企画紹介  
(離島フィールド・奨学生ミーティング・つどい・KOMSA)

# 奨学生募集

共に鹿児島の地域医療をめざす方をサポートします！

月額

10万円／月（全学年）

対象

日本国内の医科大学・大学に在籍する医学部医学科生で、  
鹿児島民医連の医療に参加される意志を持った方

※返済義務の免除もあります



私たちは、身近な医療機関として地域の人々に支えられ、半世紀以上にわたって歩んできました。  
「いのちは平等である」という考え方から、医療・介護・福祉を見つめ活動しています。

随時対応致しております。奨学生について更に詳しく知りたい方は下記までご連絡ください。

鹿児島県  
民主医療機関連合会

TEL 099-266-1531  
<http://kagoshima-min.jp/>

月～土／9：00～17：00

担当／白田・有瀬・秋原・下石

鹿児島民医連 奨学生



# Access

～医学生と鹿児島民医連の情報誌～



奨学生のセンパイQ&A  
奨学生になって思うこと

3



医系学生サポートセンターの紹介

5



ホームページ、ブログの紹介

6



研修医のセンパイQ&A

7



民医連アーカイブス  
地域の声が行政を動かした  
「愛のふれあい会食」

11



島のお医者さんにインタビュー  
徳之島診療所 一離島医療一

13



民医連企画紹介  
～大学だけではない学びのフィールド～

15



鹿児島生協病院概要

17



民医連とは・・・

18

# 奨学生になって 思うこと

鹿児島民医連の奨学生になると  
どんなことがあるの？

3人の先輩奨学生に学生生活のことや、奨学生になつて思うことを聞きました。

**Q1** 民医連を知ったきっかけは？

**Q2** なぜ奨学生になろうと思ったの？

**Q3** 奨学生になってプラスになったことは？

**Q4** 新入学生へひとこと

奨学生の

## センパイ Q&A

金銭的に楽になるのと、  
医師体験や模擬面接が  
きっかけで生協病院の  
雰囲気の良さを感じ、  
将来生協病院で  
働いてみたいと思ったから

**Q2**



鹿児島大学医学部医学科1年  
**榎本 龍生**(鹿児島県種子島出身)



予備校に来た  
生協病院の  
1日医師体験の  
お知らせ

**Q1**

新しくできた友達や先輩方と  
部活したり遊んだりと、  
受験のときとは比べものにならない  
楽しい生活が待ってます。  
分からないう�があるたら  
いつでも声をかけてくださいね。

**Q4**

▲サークルで  
シンガポールへ▶



大学外で  
医療問題を学べたり、  
他大学の奨学生と  
交流できたりと、  
様々な体験をする機会が  
得られること

**Q3**

経済的に余裕ができることと、アルバイトの時間を勉学と部活にまわし集中できると思って



▲国分生協病院実習

苦しい時こそ笑顔だ!  
受験のりきってぜひ鹿大へ



鹿児島大学医学部医学科1年  
**川口 大輔**(鹿児島市出身)

高3時に生協病院主催の模擬面接に参加してからですね



Q3

実習先になる生協病院と学生時代からうちとけられて、将来への不安が軽減されますね

医師としてのキャリアは鹿児島からスタートさせたかったし、すごく魅了的な制度だったから



鹿児島大学医学部医学科1年  
**前野 拓郎**(鹿児島県薩摩郡出身)

入学の時の資料の中にパンフレットがあったから



Q3

大学では色々な人との交流が増えるし、自由な時間も増えるので、部活も遊びも勉強も存分に楽しむことができます。  
受験がんばってください



実際に自分が働く病院の先生方と早くから交流がもてる、奨学生会議や民医連主催のイベントで勉強させてもらえること

写真は夏休み友人と参加したボランティア in カンボジア



## 医系学生サポートセンター の紹介

### Q 誰でも利用できるの？

医系学生であればどなたでも利用可能です。お気軽にお立ち寄りください。

### Q どういう利用ができるの？

- ①コピー機の利用ができます。
- ②医学書・文庫本・漫画等が閲覧・貸出できます。
- ③毎週火曜日に昼食会を行っています。
- ④パソコン・インターネットが利用できます。
- ⑤病院実習や奨学金の相談

全て  
無料

毎週火曜日に行われている昼食会には地域の組合員さんも参加して、栄養満点の手料理を作つて待つています。毎回20名近くの学生が参加し、楽しく交流しています。

まだ足を運んだことのない方は是非一度お越しください。お待ちしています。

常的に活用でき、実習や大学生活の相談にのれるように、鹿児島大学医学部近くにサポートセンターを設置しています。

自習室として、学習会の会場として、または授業の合間の休憩等々お気軽にご利用下さい。

## 昼食会のご案内



毎週火曜日 11時30分～



鹿児島大学  
医系学生サポートセンター  
桜ヶ丘8-22-6 TEL.099-264-5475



鹿児島大学  
医系学生の皆さん誰でもどうぞ



来てのお楽しみ♪  
担当者の  
手作り料理です



無料



不要。  
お気軽にお立ち寄りください



鹿児島大学  
医系学生サポートセンター

お問合せ先：鹿児島民医連(099-266-1531)  
医学生担当：(川元、有薗、萩原)



# ホームページの紹介

まずはアクセスしてみてください!

鹿児島民医連の活動や各種企画の案内等をご覧頂けます。

The screenshot shows a blog post titled "大変な経験になりました！" (A very difficult experience). The post discusses a difficult case involving a patient who had been unconscious for a month. It includes a photo of a patient lying in a hospital bed. The sidebar features links to other posts like "月曜日はお天気です" (Monday is sunny) and "月曜日はお天気です" (Monday is sunny).

The website header reads "鹿児島生協病院 研修センター" and "099-266-1531". A main banner says "プライマリーヘルスケアを実践す初回臨床研修". Below it, there's a section for "奨学生・奨学生のための企画" and "奨学金制度をご利用ください". The center has sections for "医学生・看護学生のための企画", "医師研修・看護研修", "看護学生・看護師のための企画", and "女性さんや障害者の体験談を募集". There are also links for "九州半島医療連携センター" and "鹿児島県民医連の活動情報".

ホームページURL

<http://kagoshima-min.jp/>

鹿児島民医連

検索

鹿児島民医連  
ホームページへ  
アクセス→



レジデントたちの  
モノローグ(ブログ)

鹿児島・霧島・奄美など鹿児島県内  
各地で地域医療を支える初期研修医・  
後期研修医たちの奮闘記。

日常の出来事や、つぶやき、本音が  
ご覧いただけます。医学生向けへの情  
報発信も行っています。是非一度覗い  
てみてください。



ブログへ  
アクセス↑

- Q1** 医師を目指したきっかけ
- Q2** 医学部受験時代を振り返って
- Q3** 研修1年間で、うれしかったこと、大変だったこと
- Q4** 2年目の研修医を見てどう思いますか？
- Q5** 新入生へひとこと

# 研修医の セレクタ Q&A

## 研修医1年目

**山口貢正医師**  
(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** まわりの友人につられ。
- Q2** 仲間同士でがんばっていました。
- Q3** 患者さんの状態に一喜一憂。
- Q4** デキる！
- Q5** ファイト！

**沖中友秀医師**  
(熊本大学卒・研修医1年目)



- Q1** 人の役に立ちたいと思ったから。
- Q2** 医師になるためにあきらめずに頑張って本当に良かったと思います。
- Q3** 自分で考え主体的に動いて患者さんを治療できた時や他の医療スタッフと協力して医療を行えていると実感できた時うれしかったです。逆に色々な人と円滑にコミュニケーションを取るのが大変です。
- Q4** 経験値の差を感じます。学ぶことが多いです。
- Q5** 積極的に学んで欲しいと思います。

**山藤香子医師**  
(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** 人体の不思議展で人体に興味をもったから。
- Q2** 予備校もおもしろい所だとわかった。
- Q3** 患者さんから手紙をもらったこと。
- Q4** 自分もこんなふうになれるのか疑問。
- Q5** 何にでも興味を持ち、経験してください。

**下園翼医師**  
(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** 話せば長くなるので、ここには書ききれません。
- Q2** 開き直って楽しんでました。
- Q3** 患者さんが笑って退院してくれること。
- Q4** すごく頼りになります。
- Q5** 学生生活を楽しんでください。

**赤羽宙志医師**  
(北京大学卒・研修医1年目)



- Q1** 大河内教授に憧れて、目指しました！  
※大河内教授…白い巨塔に登場する病理医。
- Q2** ON-OFFのメリハリをつけて頑張りました。
- Q3** 初任給。当直。
- Q4** キャラクターが濃い！！
- Q5** あまりかしこまらず、病院実習にも来てみてください。

**鮫島浩継医師**  
(鹿児島大学卒・研修医1年目)

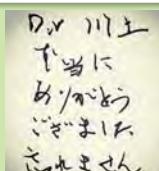


- Q1** 元々子どもや赤ちゃんが好きで、産婦人科の需要を感じたため。
- Q2** コツコツ勉強しつづければかかると思っていた。
- Q3** コミュニケーションが大変です。
- Q4** 光り輝いています。
- Q5** 適度に勉強して、遊んでください。



### 川上翔平医師

(鹿児島大学卒・研修医1年目)



▲患者さんからの手紙

- Q1** 子どものころからの夢でした。
- Q2** 合格のときは、涙を流しました。
- Q3** 初めて受けもつた患者さんが、退院のときに感謝の気持ちを綴った手紙を頂き、涙がでました。
- Q4** 1年後に自分がこうなっているか、と近い目標になっています。
- Q5** 鹿児島のおいしいしゃぶしゃぶを食べましょう☆

### 池田正樹医師

(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** 子どもと関わる仕事に就きたくて、その中で小児科医を選んだ。
- Q2** 山P主演の医療ドラマ「コード・ブルー」を見ながら受験勉強頑張りました。
- Q3** 患者さんが元気になって笑って話しができたこと。仕事を覚えること。
- Q4** 患者さんのアセスメント、救急対応、手技などあらゆることをほとんど1人で行えているのですごいなと思うと同時に、自分もそうなれるよう頑張りたいと思っています。
- Q5** 合格おめでとうございます。医学部は6年間と長いでですが終わってみればあっという間です。医師として働きだす前の自由に使える大切な時間です。学生時代にしかできないことを精一杯楽しんでください。



### 湯舟幸代医師

(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** 市民病院で事務職をしていて、病院でずっと働きたいと思ったから。
- Q2** 仕事と学士編入試験の両立、我ながらよくやったと思う。入職1年目で妊娠・出産した私を温かく受け入れてくれ、子育てに対する配慮をもらえます。
- Q3** 患者さんやご家族の「ありがとう」という言葉。研修と双子(1才)の子育ての両立。
- Q4** カッコいい!!
- Q5** 医学のみにとどまらず、広い視野をもてる学生生活になりますように。

### 別府宏俊医師

(鹿児島大学卒・研修医1年目)



- Q1** 祖母の入院。
- Q2** 周りに助けられました。皆でやると頭に残ります。
- Q3** 患者さんが元気になって帰っていくこと。忙しいこと。
- Q4** 知識が豊富です。あと1年で同じようになれるか不安。
- Q5** 楽しんでください。

### 仲田太郎医師

(浜松医科大学卒・研修医1年目)



- Q1** 友人のすすめ。
- Q2** 後期の出願を忘れたことは、今でも両親には内緒にしています。
- Q3** 目指す科が決まったこと。
- Q4** あこがれです。
- Q5** 6年で卒業しましょう。

- Q1** 医師を目指したきっかけ
- Q2** 医学部受験時代を振り返って
- Q3** 研修1年間で、うれしかったこと、大変だったこと
- Q4** 当院でよかつたこと
- Q5** 新入生へひとこと

研修医の

# セレクター Q&A

## 研修医2年目

### 折田浩医師

(鹿児島大学卒・研修医2年目)

- Q1** 地元で働けて、人の役にたてる仕事ができる職業ということが思い浮かんだのが医師でした。
- Q2** 塾の講師のアルバイトをしながら、自分も受験勉強していました。人に教えるためにはそれなりに準備が必要なので、自分の理解も深まりました。
- Q3** 担当した患者さんが良くなっていくのを見ると頑張れます。一方で、患者さんが抱える問題をひとつひとつ拾い上げて適切な解決につなげるには知識・経験・行動力が必要で大変です。
- Q4** ひとりひとりの学習スタイルやスケジュールに合わせて、研修内容を柔軟に調整できるのが良いところです。多様な疾患の患者さんを同時に担当して幅広く力をつけることもできるし、各専門領域をローテートして集中的にトレーニングすることもできます。
- Q5** 医学部の学習は、知識と経験の両方が大切です。特に低学年のうちは講義が中心になるので、医療現場にも積極的に出向いてみるといいですよ。鹿児島民医連の病院でも、実習を希望される学生さんを大歓迎しています!



### 吉峯志織医師

(島根大学卒・研修医2年目)

- Q1** 亡くなった祖母の夢だったので。
- Q2** センター試験を最後の1ヶ月で200-300点ほど上げました。諦めないで受験生!
- Q3** 「ありがとう」と声をかけられる時。良くなって元気に帰っていかれる時。仕事と生活のバランス。(楽しいこと、好きなことがはっきり分かってるといいなあ)
- Q4** 支えてくれる方がたくさんいること。何でも相談でき、かつ多くのことを1年目のうちからやらせてもらえる環境。
- Q5** 勉強も遊びも精一杯楽しんでください。



### 藤沼駿医師

(琉球大学卒・研修医2年目)

- Q1** 医学の勉強がしたかったので。
- Q2** 昔の話です。
- Q3** 自分でお金を稼げるのはいいものです。仕事は大変です。
- Q4** 医療スタッフがあたたかいこと。
- Q5** 気軽に実習に来てください。



### 前村清美医師

(鹿児島大学卒・研修医2年目)

- Q1** 身体の仕組みとか 学ぶことが面白うだと思ったので。
- Q2** 予備校にこもっていたので、色白になりました。
- Q3** 小児科研修中、似顔絵のプレゼントをもらったことがとてもうれしかったです。
- Q4** 全診療科、医局が一緒なので、色々な診療科の先生に相談、質問がしやすい環境です。
- Q5** 長いようであつという間の6年間です。楽しんでください。





▲4月 採血研修



▲歓迎セレブション



▲病棟クリスマス会



**藤本佐和医師**  
(九州大学卒・研修医2年目)

**Q1** 父が医師で身近な職業だった。

**Q2** サッカーやジョギングで気分転換を大事にしています。

**Q3** 多くの先輩・同期・後輩に刺激をうけ成長できること。当直などの体と心のダメージ。

**Q4** 鹿児島、国分、奄美、徳之島のどの院所でも、地域に根ざした医療をしている。研修の自由度も高いし、柔軟に相談にのってもらえる。

**Q5** 医学部の勉強はとても幅広いです。テストをこなすことに縛られず、将来どんな生き方をしたいかしっかり考えるといいと思います。時間が自由なので、いろいろなチャレンジをしてください。



▲忘年会

# 地域の声が行政を動かした「愛のふれあい会食」

皆さん、鹿児島市の事業「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」をご存知ですか。

会食は家に閉じこもりがちな高齢者が集まって交流を図ること、訪問給食は独居老人の孤独感を和らげ安否確認・生命の安全を図ることが目的です。市の補助により利用者の自己負担は、会食200円、訪問給食400円にて利用できます。

これらの事業は1991年、鹿児島医療生活協同組合鹿児島民医連の加盟組織、以下、「医療生協」と、その鴨池支部の※組合員が所属するボランティアサークル「わらび会」、「在宅患者家族会」が中心となり行政へ働きかけた結果、実現したものです。現在では、会食は一回の開催につき平均246食、訪問給食は年間729名の利用実績があります。

### 地域の方々とともに「健康づくり」に取り組んできた医療生協

さかのぼれば、医療生協はそれまでも病院経営にとどまらず「まちづくり、健康づくり」高齢者をひとりぼっちにしない」をモットーにその時代の地域の要求に対応し、行政へ働きかけてきました。大きなものでは70年からの「訪問看護の制度化」、80年代

から「老人医療費無料化継続」の運動があげられます(※年表参照)。地域からの要求を言葉だけでなく、職員と組合員が一丸となり地域を調査し、その事実をもつて行政へ訴え働きかけてきました。

### 1990年、「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」実現にむけて

70年代の「訪問看護制度化」、80年

代の「老人医療費無料化継続」の運動の歴史が脈々と受け継がれ、冒頭で述べた「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」へと繋がります。会食は、はじめはボランティアグループ「わらび会」による月1・2回の「お茶のみ会」からスタートします。高齢者の偏つた食生活を改善したいと、会食と訪問給食を求め、鹿児島市高齢者福祉課・福祉事務所との懇談、市議会傍聴し交渉を重ね、翌年の91年「愛のふれあい会食」事業が先に新設されました。一方で、訪問給食については、當時50万都市であつた鹿児島市で実施に踏み切るには課題が多く保留されました。そこで、1992年「独居老人食事調査」とし、三和町に住む



▲1961年8月開院 南地区診療所  
(鹿児島医療生協のはじめての診療所)

「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」事業のいま  
まだ問題が残っています。鹿児島

活が明らかとなり、食事は2日分作られおりおきや、インスタント食品に頼つたりと、健康状態や収入の高低、日々常に世話をする人の有無に大きく左右されることがわかりました。同時に陳情署名も実施し、5,232名の署名を集め、独居老人食卓調査の報告と共に再び鹿児島市へ再度陳情し92年の12月、市議会が決定し、訪問給食が実現する運びとなりました。病院と地域組合員のひとりぼつちの老人をなくそう」の想いが、行政を動かす大きな原動力となりました。

配給食等を利用しきらんとした食事ができたら病状もよくなるのでは」とのこと。鹿児島市の事業である会食や訪問給食を知らない高齢者も多いため、今後は患者さんははじめ必要としている方々に広めていくことが大事だとお話しを頂きました。

### 市に宅配給食を陳情

実現する会食 5千300人の署名添え  
「高齢者への給食」サマーバケーション活動  
「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」事業のいま  
まだ問題が残っています。鹿児島



▲91年12月「愛のふれあい会食」

問給食」が実現され、20年余が経つた現在でも、高齢者の食卓には、まだ



## 資料

### ※「愛のふれあい会食」

ボランティア団体等が集会所等で、家に閉じこもりがちな高齢者と会食をするとき、デイサービスセンター等で調理した食事をお届けします。

対象／65歳以上の家に閉じこもりがちな高齢者と会食を行う  
ボランティア団体(自治会、老人クラブ等)

条件／1団体の人数は概ね10人以上50人以下。

実施回数は年12回以上

料金／自己負担・・・200円

・委託料金は1食650円。

利用者の自己負担は一律200円、

鹿児島市に450円を請求。

### ※「心をつなぐ訪問給食」

定期的に安否の確認を必要とするひとり暮らし高齢者等に食事を配食します。

対象／定期的に安否確認が必要な食生活の手助けを必要とする65歳以上のひとり暮らしの人

世帯全員が65歳以上で要支援以上の世帯の方

要介護3以上の方がいる65歳以上の人のみの世帯で要支援以上の方

回数／要支援2以上一昼食週6回以内、夕食週6回  
(昼食を週6回受ける者等)

要支援1以下一昼食週3回以内

手続／申請書

(地域包括支援センター職員による調査があります)

料金／自己負担200円 住民税課税世帯：400円

800円(市補助600円+自己負担200円、住民税課税世帯は400円)配達料150円

※引用／「愛のふれあい会食」「心をつなぐ訪問給食」

鹿児島市ホームページより

取材協力／馬渡 耕史(鹿児島医療生協 理事長)

鹿児島医療生協 組織部

## 年表

### 1970年 訪問看護制度化へむけて

南地区診療所(鹿児島医療生協の原点)

●通院できない患者のために、看護師のボランティアで訪問看護スタート。

●制度化へ向けて市長訪問・署名を市議会へ提出・請願

### 1977年 鹿児島市による訪問看護制度成立(西日本初)

●一件につき最大5千円の補助が認められる  
(国の制度ができる14年も前)

●寝たきり患者530名が救済

### 1980年 「老人医療費無料化継続」へむけて

1981年 医療生協で「老人実態調査」を実施  
対象は、下福元町60歳以上の高齢者2600名。

独居老人8.3パーセント、寝たきり老人12パーセントという実態がわかる。

(行政も把握していない実態、新聞社、テレビで報道される)

### 1982年 国は老人医療費有料制法案を成立

医療生協は鹿児島市へ老人医療費無料化継続の請願(実態調査の報告と署名提出)

### 1983年 鹿児島市は市の負担により老人医療費、老人健診の無料化の継続

※組合員とは・・・医療生協に出資(1口2千円)し加入している方、どなたでも加入できます。医療生協は「組合員が主人公」として医療生協の運営に参加し、利用しているということが大きな特徴です。

## 新入生へのメッセージ

かって、「医師の仕事は病気を治すこと」と言われてきました。  
これには患者さん自らが「病気とたたかう」と言う側面が軽視されていましたが、それでも病気は治るものばかりではありません。むしろ高血圧や糖尿病のように治療しないけど、うまくコントロールして生活の質を保てるように支援することが医師の役割になっています。  
支援するためには、患者さんがどんな環境でどんな風に生活しているのかを知らなければなりません。そういう意味で鹿児島医療生協が取り組んできた地域の人々の食事情を知り、改善策を提案し地域全体が健康になるような運動の主体者としての医師の役割は大きいものがあります。社会を見る目を持つた医師をめざしましょう。

かって、「医師の仕事は病気を治すこと」と言われてきました。  
これには患者さん自らが「病気とたたかう」と言う側面が軽視されていましたが、それでも病気は治るものばかりではありません。むしろ高血圧や糖尿病のように治療しないけど、うまくコントロールして生活の質を保てるように支援することが医師の役割になっています。  
支援するためには、患者さんがどんな環境でどんな風に生活しているのかを知らなければなりません。そういう意味で鹿児島医療生協が取り組んできた地域の人々の食事情を知り、改善策を提案し地域全体が健康になるような運動の主体者としての医師の役割は大きいものがあります。社会を見る目を持つた医師をめざしましょう。



鹿児島医療生協  
理事長  
馬渡 耕史

# 島のお医者さん インタビュー



# 徳之島診療所

—離島医療—



行ってほしい」と優しく(?)要請され、引き受けました。



現場で働く医師として  
離島医療の難しさを  
教えてください

赴任して難渋していることは「モノ」、「ヒト」、「バショ」が不足しているという点です。

『モノ』：内地の病院では薬剤や材料が

不足した場合、発注してその日に届くこと

が多い環境にあります。しかし、離島では薬

品の発注から到着まで2～3日かかること

はよくありますし、台風が接近すればそれ

以上に時間がかかってしまうこともあります。

余分に在庫を置いておけばいいのではと

思う方もいらっしゃるかもしれません、が、

小さい診療所ですから使い切れることは

あり、破棄となるものが多ければ経営を圧迫することにもつながってしまいます。

『ヒト』：2人の医師でぎりぎりの

業務をこなしていけるため、不測の事

態が起こるとヒトの動きが追いかず診療

に大きな影響が出てしまいます。体調不良

で休もうにも医師不足の現状では簡単に代

わりの医師が来ることはできませんので、

5人集めると、誰かと誰かが必ず知り合いで、下手をすれば親戚に当たったりもします。それでも過言ではありません。そのため、余計なことを言うとすぐに広まってしまうの

で、患者さんとの会話の中ではあまり余計なことは言わないよう気を付けています。

島ならではの患者さんへの  
接し方ありますか？

離島はとても世間が狭いです。ランダムに

5人集めると、誰かと誰かが必ず知り合いで、下手をすれば親戚に当たったりもする

ことがあります。自分の行った治療で患者さんがす

ぐに良くなつていけば、それが医師と

の自信になり、やりがいを感じます。逆にな

かなか診断がつかない治療してもよくな

らないという状況が続けば患者さんやそ

の家族には不信感も生まれますし、それに

よつて自分自身の力の無さを痛感してしま

うことも少なくからずあります。そのような

中、文献検索や島内外の医師にコンサルト

することで苦労して診断をつけ、無事治療

が成功したり、専門施設への紹介につなげ

られた症例ではより大きなやりがいを感じ

じることができました。自分しかいない、自

分がやらなければならぬという厳しい環

境が逆に魅力でもあるのかもしません。



私は2010年に大学卒業後、鹿児島生協病院へ入職しました。入職のきっかけは、父も医師として鹿児島生協病院に勤務しており(当時)、その背中を追いかけたということが一番だったと思います。また鹿児島生協病院では4～5年目の医師が離島診療所を担当とも聞いていましたので、それまでの医師としての総合的な実力がつけられると思入職を決めました。2年間の初期研修の後は、霧島市の国分生協病院で3年間の後期研修を受けました。後期研修では専門科にはこだわらず内科疾患であれば何でも担当し、外来、病棟はもちろんのこと、透析、在宅医療、心臓カテーテル検査、シャント手術、胃カメラ、麻酔(1回だけでしたが)など様々な経験を積むことができました。しかし、自分の中ではまだまた離島診療所を担える力量がついたとはとても思えませんでしたので、正直診療所への赴任は全く考えていませんでした。そんな中で離島診療所赴任へのきっかけとなったのは、2014年の夏に南大島診療所(奄美大島本島古仁屋)へ診療支援に行つた際の出来事でした。ペラン先生お二人から「離島診療所の若いときの経験は貴重だ。いま、徳之島診療所に行ってくれる若手医師が必要で、是非、先生に

赴任して1年経ちましたが、  
離島医療のやりがい・魅力を感じる時はどんな時ですか？

徳之島診療所の常勤医師は2名だけで、いくため、結果がすべて自分自身にかえります。少ない医師で数多くの患者さんを診て

きます。自分の行った治療で患者さんがすぐによくなつていけば、それが医師と

の自信になり、やりがいを感じます。逆にな

かなか診断がつかない治療してもよくな

らないという状況が続けば患者さんやそ

の家族には不信感も生まれますし、それに

よつて自分自身の力の無さを痛感してしま

うこともあります。そのような

中、文献検索や島内外の医師にコンサルト

することで苦労して診断をつけ、無事治療

が成功したり、専門施設への紹介につなげ

られた症例ではより大きなやりがいを感じ

じることができました。自分しかいない、自

分がやらなければならぬという厳しい環

境が逆に魅力でもあるのかもしません。

『ヒト』：2人の医師でぎりぎりの業務をこなしていけるため、不測の事態が起こるとヒトの動きが追いかず診療に大きな影響が出てしまします。体調不良で休もうにも医師不足の現状では簡単に代わりの医師が来ることはできませんので、私は赴任してからは一度も病休をしたことありませんが(二日酔い含む)緊急で

徹底した自己管理も必要になってしまいます。

私は赴任してから一ヶ月で病休をしたことはありませんが(二日酔い含む)緊急で

離島はとても世間が狭いです。ランダムに5人集めると、誰かと誰かが必ず知り合いで、下手をすれば親戚に当たったりもする

ことがあります。自分の行った治療で患者さんがすぐによくなつていけば、それが医師と

の自信になり、やりがいを感じます。逆にな

かなか診断がつかない治療してもよくな

らないという状況が続けば患者さんやそ

の家族には不信感も生まれますし、それに

よつて自分自身の力の無さを痛感してしま

うこともあります。そのような

中、文献検索や島内外の医師にコンサルト

することで苦労して診断をつけ、無事治療

が成功したり、専門施設への紹介につなげ

られた症例ではより大きなやりがいを感じ

じることができました。自分しかいない、自

分がやらなければならぬという厳しい環

境が逆に魅力でもあるのかもしません。

# TOKUNOSHIMA



徳之島診療所 副所長  
医師 藤崎 弘志郎  
(2010年入職／琉球大卒)

## 診療所のある一日(スケジュール例)

時間	内容
【8:00】	<b>出勤</b>
【8:30】	<b>医局朝礼</b>
【9:00】	<b>午前の診療開始</b> 1 診:外来 2 診:胃カメラの合間に健診や予防接種対応、 時間が空けば病棟業務
【12:45】	<b>昼休憩</b> You Tubeで笑点の大喜利を見ながら昼食
【14:00】	<b>午後の診療開始</b> 往診:14:00に出発、 外来:15:00から診療開始、 病棟担当も兼務
【18:00】	<b>診療終了</b> 病棟業務、書類業務、病状説明、 カンファレンスは診療終了後に行うことが多い 2015年下半期からは地域にて医療講演会なども 行っている
【20:00】	<b>帰宅</b> 宅直の場合は翌朝8:30まではon callで待機

## 藤崎先生の休日の過ごし方

離島といえばマリンスポーツですが、私は副鼻腔が弱い＆閉所恐怖症のためにダイビングは不適合であり、また、太陽に当たるとヤケドしてしまうので主に日中は室内で過ごしています。学生の頃から基本的に夜行性でしたので、夕方になると地元の方々が誘ってくださるBBQや飲み会に参加することが多いです。

別にお医者さんに限らないことかもしれません、『コミュニケーション能力に欠けていない』という点が大事だと思います。プライベートも職場も狭い環境にありますので、人間関係がうまく作れないと苦労することが多いかもしれません。あと、自分の限界を理解しておくことも必要です。自分の手に負えること、負えないことを理解し、キャバシティを超えた場合にはためらわずに相談や紹介することが患者さんの利益につながりますし、自分自身を助けることになります。

医学部への合格おめでとうございます。今皆さんが自分自身の中で描いている将来の医師像はどのようなものでしょうか。すでに志望する科を決めている方もいれば、そうでない方もいらっしゃるかと思います。学生時代にすべてを決めるということは当然無理な話ですが、学生時代に数多くの経験をすることで将来の選択肢が広がることもあるかと思います。私たちの鹿児島民医連は専門科に分化した300床規模の鹿児島生協病院、地域に根差した中小規

模の国分生協病院、奄美中央病院、地域医療の最前線にある徳之島診療所、南大島診療所といった多岐にわたるフィールドを備えています。院所の規模ごとに特色のある医療活動を見ることは、今後のはじまりく医師人生において損にはならない経験だと思います。私たちも皆さんにとって有意義な時間となるように頑張りますので、一度実際の医療の現場をのぞきに来てみませんか？

## どのような方が、島のお医者さんに向いていますか？

## 新入医学生へメッセージをお願いします。



民医連には学生を対象にした学びの場や活動がたくさんあります。大学で学ぶ医学知識だけではなく地域医療の現場や、社会的弱者の存在、それを取り巻く社会の現状を学ぶ事で人間の幅が広がりより良い医療や社会の実現に寄与できる医師に成長して欲しいからです。

学年を問わずに気軽に参加できる企画がほとんどです。皆さんの参加をお待ちしています。

# 民医連企画紹介

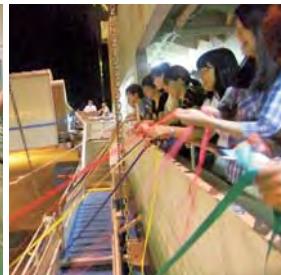
～大学だけでなく学びのフィールド～



## 夏期離島 フィールド



私達、鹿児島民医連は「地理的な離島はあっても人の命に離島があつてはならない」をスローガンに本土復帰間もない奄美大島で活動を開始しました。離島フィールドは鹿児島民医連の原点「離島医療」を体感できる歴史あるフィールド企画です。フェリーで一晩かけて離島へ行き、離島の医療や島民の生活背景をケースワーク(在宅患者の訪問調査)を通じて学習します。また高学年向けには「診断学ワークショップin離島」を設け、離島ならではの疾患やドクターへり対応の症例について学びます。離島医療で活躍する青年医師やスタッフが皆さんを待っています！離島医療を学ぶことはもちろん、一緒に参加した仲間と将来の夢や医師像を熱く語り明かすのも醍醐味です。



- 8月中旬開催予定
- 奄美大島他
- 自己負担額1万円前後  
(3泊4日)

## ◆ 獎学生ミーティング

月1回、奨学生が集まり、医師をはじめ薬剤師やリハビリスタッフなどのコメディカルスタッフを講師に招いて、学習会や懇談会を行っています。民医連の歴史、医療現場のお話から、医療情勢、社会問題など多岐にわたり学習する機会となっています。医師やスタッフとの交流はもちろん、学年を超えて医学生同士で交流ができます。また、スポーツ交流会や冬には鍋会など、奨学生だけでなく誰でも参加できる企画も行っていますので、お気軽にご参加ください。

- 毎月第3水曜日 18:30~
- 医系学生サポートセンター (P.5参照)



## ◆ つどい

### 民医連の医療と研修を考える 医学生のつどい

医学生が全国から一堂に会し、2泊3日で行われます。通称“つどい”と呼ばれ、参加学生だけでも200名、医師や看護師などの職員も含めると400名規模となり、民医連の医学生企画のなかでも最大級の企画です。全国に仲間を作る大きなチャンスです。昨年度は「3.11から5年たった今」をテーマに宮城県松島にてフィールドワークをメインに開催されました。

●3月開催予定 ●2016年度は場所未定

## ◆ KOMSA (コムサ)

### 九州・沖縄医学生のつどい

春に行われる全国規模の「つどい」に対して、九州・沖縄の医学生が集まって学習交流を行うのがKOMSA (Kyusyu Okinawa Medical Student Associationの略称)です。50名規模で「つどい」に比べると小規模ですが、学習内容・医学生交流は充実しています。昨年は「地域包括ケア 2025年問題」をテーマに佐賀県にて開催されました。

- 10月頃開催予定
- 2016年はなんと鹿児島市開催予定



# 鹿児島生協病院概要

病院理念	人権を尊重し、安全で信頼される医療を地域の人々とともにすすめます。		
院長	長谷 康二(ながたに こうじ)	TEL・FAX	TEL 099-267-1455 FAX 099-260-4783
所在地	〒891-0141 鹿児島県鹿児島市谷山中央5丁目20-10	URL	<a href="http://www.kaseikyohp.jp/">http://www.kaseikyohp.jp/</a>
標榜科	内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・眼科・耳鼻咽喉科・産婦人科・泌尿器科・肛門外科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・リウマチ科・救急科・腎臓内科・人工透析内科・糖尿病内科・内分泌内科・アレルギー科・病理診断科		
病床数	許可病床数 306床(一般226床・療養40床・回復期リハ40床)		
診療規模	【2014年度患者数】 入院:305.5人／日、年間入院件数:5,529件／外来289.1人／日 ※隣接外来クリニック:432.5人／日、救急車搬入台数2,785件／年		
学会認定	日本医療機能評価機構認定病院 日本内科学会認定医制度教育病院 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設 日本透析医学会専門医制度認定施設 日本外科学会外科専門医制度修練施設 日本小児循環器学会小児循環器専門医修練施設 日本麻酔科学会麻酔科認定病院 日本眼科学会専門医制度研修施設 日本アレルギー学会認定教育施設 日本病理学会研修登録施設 日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設 日本消化器内視鏡学会指導施設 日本プライマリ・ケア連合学会認定病院総合医養成プログラム施設 臨床研修指定病院 日本呼吸器学会認定施設 日本腎臓学会研修施設 日本神経学会専門医制度教育関連施設 日本小児科学会専門医制度研修支援施設 日本整形外科学会専門医研修施設 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設 日本感染症学会研修施設 日本泌尿器科学会専門医教育施設 日本臨床細胞学会施設 卒後臨床研修評価機構認定病院 日本消化器病学会関連施設		
協力型研修病院	公益財団法人慈愛会 谷山病院(精神科) 公益財団法人慈愛会 奄美病院(精神科) 財団法人健和会 健和会大手町病院(内科、救急部門、産婦人科、選択) 社団法人福岡医療団千鳥橋病院(内科、救急部門、産婦人科、地域医療、外科、小児科、選択) 特別医療法人財団健友会 上戸町病院(内科、選択) 医療法人親仁会 米の山病院(内科、外科、地域医療、選択) 大分県医療生活協同組合 大分健生病院(内科、選択) 医療法人芳和会 くわみず病院(内科、地域医療、選択) 医療法人芳和会 菊陽病院(精神科) 宮崎医療生活協同組合 宮崎生協病院(内科、選択) 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院(内科、救急部門、産婦人科、選択) 国分生協病院(導入期研修の一部、内科、小児科、地域医療、選択) 公益財団法人慈愛会 今村病院分院(選択) 鹿児島大学病院(選択)		
協力施設	医療法人愛育会 愛育病院(産婦人科) 谷山生協クリニック(外来・在宅医療研修、健診、往診) 鴨池生協クリニック(地域医療、選択、喘息など特定の呼吸器疾患) 坂之上生協クリニック(地域医療、選択) 中山生協クリニック(地域医療、選択) 紫原生協クリニック(地域医療、選択) 吉野生協クリニック(地域医療、選択) 生協往診クリニック 奄美中央病院 (内科、地域医療、離島医療、選択) 南大島診療所(地域医療、離島医療) 徳之島診療所(地域医療、離島医療) 介護老人保健施設せとうち (地域保健、介護福祉) 特別養護老人ホームにじの郷たにやま (地域保健、介護福祉) 他		





# はじまりは、奄美の診療所から

SINCE 1954

1954年(昭和29年)12月、奄美大島の名瀬市に奄美診療所が誕生しました。当時の奄美は8年にわたるアメリカ占領から復帰したばかり。「いつでも、どこでも、だれでもが安心してよい医療を」は植民地的生活を強いられていた島民の切実な医療要求でした。その願いに応えスタートした奄美診療所(後に奄美中央病院)、これが鹿児島民医連のはじまりです。それから60年以上が過ぎようとしています。「地理的離島はあっても、人の生命(いのち)に離島があつてはならない」創立当時の想いは今も変わることなく、鹿児島民医連は無差別平等な医療に日々取り組んでいます。

## 地域に根ざして 半世紀以上



吉野生協クリニック  
鴨池生協クリニック  
生協歯科クリニック鴨池  
紫原生協クリニック  
中山生協クリニック

鹿児島生協病院  
谷山生協クリニック  
谷山生協歯科クリニック  
坂之上生協クリニック  
生協往診クリニック  
にじの郷たにやま

病院実習で  
「なりたい医師像」  
が見えてくる!



デイゴの花。  
離島の海の青!

訪問看護ステーション施設  
生協訪問看護ステーションたにやま  
サテライト訪問看護にじ  
生協訪問看護ステーションかもい  
サテライト訪問看護むらさきばる

生協訪問看護ステーションこくぶ  
生協訪問看護ステーション万之瀬  
生協訪問看護ステーションあまみ  
生協訪問看護ステーションせとうち  
生協訪問看護ステーションあまぎ

第二次世界大戦直後の日本は、社会全体が荒廃し、飢餓と感染症がはびこり、一方で医師をはじめとする医療専門家や医療機関などの数が非常に乏しい状況でした。そのような中、貧困などによりまとまる医療に恵まれない人々の切実な願いに応えるべく各地で生まれた医療機関の全国的な集まりが、1953年に発足した医療連全日本民主医療機関連合会です。民医連には、その共通の目標である「綱領裏表紙参照」があり、その目標をめざして活動しています。特に患者を経済的な理由で差別しないという方針から、今では当たり前となつている個室料や差額ベッド料といったお金の徴収しないなどの取り組みを続けており、マスクなども注目されています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1807カ所を超え、約8万832人の職員と、医療生活協同組合の組合員や友の会会員約350万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。



## 民医連綱領

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

戦後の荒廃のなか、無産者診療所の歴史を受けつぎ、医療従事者と労働者・農民・地域の人びとが、各地で「民主診療所」をつくりました。そして1953年、「働くひとびとの医療機関」として全日本民主医療機関連合会を結成しました。

私たちは、いのちの平等を掲げ、地域住民の切実な要求に応える医療を実践し、介護と福祉の事業へ活動を広げてきました。患者の立場に立った親切でよい医療をすすめ、生活と労働から疾病をとらえ、いのちや健康にかかわるその時代の社会問題にとりくんできました。また、共同組織と共に生活向上と社会保障の拡充、平和と民主主義の実現のために運動してきました。

私たちは、営利を目的とせず、事業所の集団所有を確立し、民主的運営をめざして活動しています。

日本国憲法は、國民主権と平和的生存権を謳い、基本的人権を人類の多年にわたる自由獲得の成果であり永久に侵すことのできない普遍的権利と定めています。

私たちは、この憲法の理念を高く掲げ、これまでの歩みをさらに発展させ、すべての人が等しく尊重される社会をめざします。

裏表紙写真 撮影  
鹿児島大学 医学科6年 東 貞行

- 一. 人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめ、人びとのいのちと健康を守ります
- 一. 地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などとの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
- 一. 学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
- 一. 科学的に民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療、介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
- 一. 国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
- 一. 人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります

私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

2010年2月27日  
全日本民主医療機関連合会 第39回定期総会

### 編集／鹿児島県民主医療機関連合会

発行日／2016年1月  
〒891-0141鹿児島市谷山中央5丁目4-12  
TEL.099-266-1531 FAX.099-266-1530  
<http://kagoshima-min.jp/> E-mail:[igakusei@kagoshima-min.jp](mailto:igakusei@kagoshima-min.jp)